

■佐藤良二 旧国鉄バスの車掌で、人を動かす桜に心を動かされ、太平洋と日本海を桜で結ぼうと、路線沿いに植え続けた。

さとうりょうじ

世界恐慌・1929= 岐阜県郡上郡白鳥町で、貧しい農家に生まれ、

満州事変・1931= 2歳：

五一五事件・1932= 3歳：母が病気で死去、以後、父仁助が食事や洗濯など一切の家事をこなし、畑仕事に精を出すのを見て育ち、

日中戦争始・1937= 8歳：

健保+総動員 1938= 9歳：

小学校で、ボロ服といじめに会って父に泣きつき、「貧乏人でもできることがある。困っている人を助けること、大きくなったら人様の喜ぶことをしなさい」と諭されるも分らず、

日米開戦・1941=12歳：

敗戦・1945=16歳：

新憲法施行・1947=18歳：国鉄バスの職員になるため、愛知県豊川市の自動車学校に入り、寮生活をするうち、同僚たちから、俳優の方が向いているとおだてられ、貯金を叩いて鼻の整形手術までして、映画会社に応募するも不合格となり、

からかわれる

朝鮮戦争始・1950=21歳：この年、庄川本流最上流部に、ダムを建設する庄白川貯水池計画が固まり、

独立回復・1951=22歳：

貴重な穀倉地帯で、木材運搬などで豊かであったことなどから、水没する庄川・白川村民301世帯1,346人から猛反対運動が起こり、電源開発初代総裁高碕達之助が何度も現地を訪れ涙の訴えるなか、

テレビ放送始・1953=24歳：国鉄に入社。故郷の美濃白鳥自動車区に配属。ダム建設地を通る金沢との間の金八線の車掌になる。

自衛隊発足・1954=25歳：地質の劣悪さに対応すべく、「日本屈指の規模のロックフィルダムとなる御母衣ダムが着工、

国連加盟・1956=27歳：副総裁藤井崇治が「幸福の覚書」という補償交渉の基本姿勢を示し、

美智子妃・1959=30歳：解決に至った式典直後、高碕が目にした水没地の樹齢400年以上に及ぶ2本のアズマヒガンザクラ(エドヒガン)の移植を懇請された「桜博士」笹部新太郎が、金八線沿いへの移植を総指揮、移植作業に助力した愛知県豊橋市の造園業者庭正造園の丹羽政光から、その移植の撮影記録することを依頼される。

豊橋市の造園

安保闘争・1960=31歳：

イタイ病始・1961=32歳：大工事ののち、「移植された桜が見事に根付き、新聞記事にもなって、各地に散り散りになっていた村民も戻ってくるようになる。

全国総合計画1962=33歳：傍らに水没記念碑が建てられ、「再び開花した時に花見に来ていた老婦が桜の幹に涙ながらに抱きつき、周りにも多くの村民がいて涙しているのを目撃、桜がこんなにも人の心を動かすものと思い知ると同時に、幼葉を思い出し、この日を境に新たな人生に踏み出す。

き頃の父の言

東京リビック 1964=35歳：死去する直前の高碕からの願いで、藤井によって「庄川桜」と命名され、

大学紛争始・1965=36歳：

いざなぎ景気1966=37歳：「岐阜県の天然記念物に指定された。この頃から、桜で人を喜ばせようと、白鳥から庄川桜までの40kmをバス

足りず、仕事

の合間に沿線の家を軒軒訪ねて募金、それでも足りず、給料のほとんどをつぎ込むことに

なる。役場や民家に許可を

得ながら、一人で植え込んで行くも、虫に食い荒らされて枯れたり、冬の間には

、雪かきのブルドーザーに根こそぎされ

てしまうのを、植えなおしたりするうち、「変なバスの車掌」として

、沿道の人たちに知られるようになるも、手伝う人は

現れなかったが、ついに、幼馴染で運転手として同乗

することの多かった佐藤高三が手伝いを買って出てくれ、以後、バ

スにも苗木を乗せ、仕事中也植え進めて

いくうち、マスコミにも取り上げられる。妻は民宿を経営するも貧しいままで、

家族の苦勞は絶えない。周囲の人たちの回想では、子ども好きで、「僕、どこへ行くんよ。腹、減つたらんか。」などと話

しかけ、国鉄バスの輪禍で子どもが死亡した時、国鉄の制服で通夜に参列し、ひときわ目立つ鳴咽にむせんだという。

大阪万博・1970=41歳：「庄川桜」は満開の花を咲かせるに至る。

ドラッグ・1971=42歳：「身体に異変を覚え入院、体中のリンパ節が腫れ、免疫機能の大幅低下が判明、リンパ腫と診断され、化学療法と放射線照射の治療、改善するも再発の恐れで無理はできない中、成長した桜に気力を与えられ、す

に800本植えて

きたが、日本最長を誇った名金線沿いをさくら道にしようと思案するに至り、

日中国交回復1972=43歳：「中古のライトバンを購入、太平洋と日本海を桜でつなごう」と大きな紙を貼りつけ、自ら植えるとともに

、沿道の人たちに苗木を配って行く。

石油ショック1973=44歳：*金沢の兼六園に、自らの植樹の1500本目の桜を植樹して目標を達成。NHKテレビで「さくら道の物語 40年を植え尽くせ」が放送される。なお、「人の世に一日も早く幸せが訪れる日を念じつつ」桜のトンネルにしよう

と、バスの中

でも立ってられないほどになった身体に鞭打って植え続けて行くが、

角栄金脈辞任1974=45歳：「癌を併発するも、生きた証を遺そうと、桜の植樹は2,000本を超え、自宅の庭に撒いた庄川桜の種が芽吹くのを見て、ますます執念を燃やしたが、

JALハイジャック・1977=48歳：「見舞いに来た高三が」とは引き受けた」と約束するなか、血管免疫芽球性リンパ節症のため、没した。

5年後には高三も死去、その後は妻と息子が引き継ぎ、名金線社員らも協力して、1000本余りが植樹された。御母衣ダム桜移植の記録撮影を担い、日本さくらの会から表彰され、新聞やテレビで取り上げられて、生前から知られていたが、全国的に有名になったのは、1994年に、中村儀朋が「さくら道」を出版、国語の教科書に取り上げられ、神山征二郎監督によって映画化されたことによる。この年には、名古屋城から兼六園までを2日かかりで走破する、第1回さくら道国際ネイチャーランが開催され、2024年の大会まで毎年4月下旬に行われていた。